
1. 学歴

2012年 3月 同志社大学経済学部学部卒業

2014年 3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了

2021年 5月 オハイオ州立大学経済学研究科博士課程修了、Ph.D. in Economics 取得

2. 職歴・研究歴

2021年 4月 一橋大学経済学研究科講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

基礎マクロ経済学

C. 講義およびゼミナールの指導方針

基礎マクロ経済学を担当します。基礎マクロ経済学では、まず前半に(1)マクロ統計、(2)家計や企業の行動、(3)均衡を教えます。そして、前半に学んだ知識を使って、(4)景気循環と資産価格理論の入門的な内容、(5)経済成長の基礎、(6)財政金融政策の効果を軸として教える予定です。また、これらの内容が私たちや学生の皆さんの生活や将来に密接に関連するものであることを例を使って話をする予定です。また、可能な限りミクロ経済学や計量経済学との関連性、および中級レベル以上のマクロ経済学との接続も意識して授業を行う予定です。

4. 主な研究テーマ

マクロ経済学が専門です。特に家計消費、中でも特に家計の耐久財消費に関して最も強い関心を持っています。耐久財消費とは、例えば家具や電化製品や車のように、長く使え、使っても直ちに消滅しないような消費を指します。このような耐久財消費は景気と経済政策に強く反応することが知られています。これは、非耐久財消費とは大きく違う特徴です。したがって、耐久消費の反応を考えることは、これまでの景気循環や経済政策の効果の含意を変え得ると考え、今後もこの方向の研究を進めていく予定です。

また、耐久財の研究の応用先として、異質な家計、家計のライフ・サイクル、課税政策に関心があり、研究を進めてきました。更に出来る研究分野を広げようと今後も学習・研究を続けていく予定です。

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文(査読つき論文には*)

"A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," *Mimeo*, 2021.12.

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

- "Unconventional Fiscal Policy and Dynamics of Consumptions," Rokko Forum at Kobe University, 2018 年 6 月。
- "Unconventional Fiscal Policy and Dynamics of Consumptions," Summer Workshop on Economic Theory, 2018 年 8 月。
- "Consumption tax as a source of discrete choice," Rokko Forum at Kobe University, 2019 年 6 月。
- "Consumption tax as a source of discrete choice," Macroeconomic Workshop at Kyoto University, 2019 年 6 月。
- "Consumption Tax and (S,s) rule," DSGE Workshop, 2019 年 7 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," Summer Workshop on Economic Theory, Virtual, 2020 年 8 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," ISER Moriguchi Prize Presentations, 2020 年 12 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," The 22nd Macro Conference, 2020 年 12 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," 15th Macroeconomic Conference for Young Economists, 2021 年 1 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," Annual Meetings of Midwest Economics Association, 2021 年 3 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," Asian Meetings of Econometric Society, 2021 年 6 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," Computing in Economics and Finance, 2021 年 6 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," WINPEC Research Seminars, 2021 年 7 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," European Summer Meetings of Econometric Society, 2021 年 8 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," GRIPS Seminar Series in Economics, 2021 年 12 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," Seminar at Tohoku University, 2021 年 12 月。
- "A Model of Anticipated Consumption Tax Changes," ASSA 2022 Annual Meeting, 2022 年 1 月。

(b) 国内研究プロジェクト

- 科学研究費研究活動スタート支援「景気循環及び経済政策に対する耐久財購入の反応」(研究代表者), 2021 - 2022 年度。
- 科学研究費基盤研究(B)「長短金利コントロール時代のマクロ経済分析」(研究分担者), 2021 - 2025 年度。

C. 受賞

- 第 23 回 森口賞(大阪大学 社会経済研究所), 2020 年 12 月。

6. 学内行政

(b) 学内委員会

- 入学者選抜管理委員会(2022 年 4 月 - 2023 年 3 月)

7. 学外活動

(b) 所属学会および学術活動

American Economic Association

Econometric Society